



ADRC Highlights

Asian Disaster Reduction Center Monthly News

Vol. 271
October
2015

トピックス

ADRC客員研究員 レポート

¶ フォジロフ・エリョール
(ウズベキスタン)

¶ メフムード・タヒール
(パキスタン)

●ADRC客員研究員レポート

フォジロフ・エリョール (ウズベキスタン)

はじめまして。私はウズベキスタンから来ました
フォジロフ・エリョールです。母国のウズベキスタン
では、地質鉱物資源国家委員会で主席専門家として働
いています。

それでは、私が所属するウズベキスタン共和国地質
鉱物資源国家委員会について紹介致します。ウズベキ
スタン共和国地質鉱物資源国家委員会は、主に工業分
野の発展に伴う、ウズベキスタン国内における鉱物資
源の効果的な採掘と拡張を目的として、地質開発等の
関連事業を行っています。同委員会の主な機能は次の通りです。

- 1) 先進的生産技術を用いて、採掘におけるクオリティと適切な量を確保
するために、水門地質に係る企業活動、地質関連企業への支援をすること
- 2) ウズベキスタン国内における採掘の危険地域をモニタリングすること
- 3) 採掘時において、放射性物質の発生の危険性がある地域を被災予防を
目的として監視すること
- 4) ウズベキスタン国内の山岳地域における雪崩もしくは地滑りの対策を
講じること

私は地質学の分野における研究活動についてもこれまで多く取り組んで
います。過去およそ20の関連論文を投稿し、そのうち7つは中国、ロシ
ア、ウクライナなどの海外論文集に掲載されました。最近では、2014年に
ドイツの学会誌において、水門地質学の方法論に関する論文が掲載されま
した。

これまでの実績と関連して、アジア防災センター (ADRC) での客員研
究員プログラムとしては、「地すべり・出水の早期警戒に関するモニタリ
ングシステム構築」について研究を行いたいと思います。



メフムード・タヒール (パキスタン)

はじめまして。私はパキスタンから来ましたメフ
ムード・タヒールです。私は、2015年8月25日から
ADRCの客員研究員として着任しました。

母国のパキスタンでは、2012年4月からパキスタン
国内の気象局国家地震モニタリングセンターで働いて
います。気象局は気象に関する様々な情報を、パキス
タン国内の様々な公的な活動、気象情報を必要とする
事業等に対して、提供されます。具体的には、陸海空
における安全な交通網の確保、自然災害に対する対策としての減災活動、
農業開発、気象予報など様々な分野に対して貢献をしています。私が所属
している国家地震モニタリングセンターは、政府機関、非政府機関、国民
に対して、早期警報や地震のモニタリングなどの対応を行っています。



Asian Disaster Reduction Center アジア防災センター

〒651-0073
神戸市中央区脇浜海岸通
1-5-2 東館5F

Tel: 078-262-5540
Fax: 078-262-5546
editor@adrc.asia
http://www.adrc.asia

続き

国家地震モニタリングセンターでは、私は地震学の専門家として従事しています。例えば、地震データの観測、地震パラメーターの評価、自動集計装置から得られた地震データの結果解析などを行っております。また、パキスタンと近隣諸国の地震目録についても取りまとめをしています。その他、現在では、地震に関する研究活動なども行っています。なお、気象局に勤める前は測量局で勤務していた経験があり、そこでは地図のデジタル化などを担当していました。

ADRCでの客員研究員プログラムでは、地震及び津波をモデルケースとして、パキスタン国内にあるグワーダルという町について検討したいと思います。グワーダルはパキスタンの沿岸沿いにある町で、近い将来経済的な発展が見込まれ、港湾の中心になるとも期待されています。しかしながら、環境や防災対策についてはまだ課題が多くあるのが現状です。将来発生が危惧される地震及び津波について学ぶことにより、グワーダルの更なる発展を期待することができると思います。

最後に、このたび客員研究員として招聘をして頂いたADRCと職員の皆様に、深い感謝を申し上げます。

問い合わせ・配信申し込み

このニュースレターに対するお問い合わせ、またEメールによる配信をご希望の方は
editor@adrc.asia までEメールをお寄せください。